

○歯科補綴学 2 : 628-4-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	*小見山 道 (クラウンブリッジ補綴学)

学修目標 (G I O) と 単位数	<ul style="list-style-type: none"> ・単位数：3単位 ・学修目標 (G I O) : 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案及び処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
評価方法 (E V)	平常試験 (平常試験①, ②の平均：50%) および実習 (実習評価：50%) の合計。講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。

クラウンブリッジ補綴学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	前学期	*小見山 道 (クラウンブリッジ補綴学)

学修ユニット学修目標 (G I O)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画及び処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	*小見山 道、*小林 平、*若見 昌信、*鈴木 浩司、*飯田 崇、*大村 祐史、*浅野 隆、*岩田 好弘、*内堀 聡史、*岩崎 正敏、*本田 実加、*増田 学、*加藤 由佳子、*生田 真衣、*上里 ちひろ、*神山 裕名、*西森 秀太、*三浦 千晶、*安田 明弘、*阿部 圭甫、*中島 正、*山城 美咲、*渡辺 官、*高橋 徹也、*青木 直子
教科書	クラウンブリッジ補綴学 第6版 矢谷博文 他 医歯薬出版
評価方法 (E V)	平常試験 (平常試験①~②の平均：50%) , および実習 (実習評価：50%) の合計。講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>【クラウンブリッジ補綴学講義】 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また、不明な点があれば必ず質問し、疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。ブリッジの製作法を通じて、適合の良いブリッジを製作するための理論を学び、さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず、口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。</p> <p>【クラウンブリッジ補綴学実習】 講義を基に、歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用、正しいインスツルメントの取り扱い方法および臨床に応用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。ブリッジの作製過程および手技を学習し、臨床に応用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は、歯科医として将来必ず役立つものである。進んで学習し実習を行うこと。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/09 (金) 2時限 10:40~12:10	ブリッジ補綴学の意義と目的 ブリッジの診療の流れ 診察・診断と感染予防 治療計画を左右する因子 クラウンブリッジの要件	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を理解する。 ブリッジ治療の診断から装着までの診療の流れについて理解する。 感染予防の基本的な考え方と補綴歯科治療における対策を理解する。 治療計画を左右する因子について理解する。 クラウンブリッジの要件について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を説明できる。 3. ブリッジ治療の診断から装着までの診療の流れについて説明できる。 4. 感染予防の基本的な考え方と補綴歯科治療における対策について説明できる。 5. 治療計画を左右する因子について説明できる。 6. クラウンブリッジの要件について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/09 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジ補綴学の意義と目的 ブリッジの診療の流れ 診察・診断と感染予防 治療計画を左右する因子 クラウンブリッジの要件	歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2021/04/09 (金) 3時限 13:10～14:40	個人トレーの製作	【授業の一般目標】 個人トレーの目的を理解し、正確に製作する技術を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. ブリッジの精密印象を採得できる適切な個人トレーの設計ができる。 3. 個人トレー製作のための適切なトレーレジンでの操作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 【コアカリキュラム】 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-3 基本的臨床技能 F-3-4) 歯質と歯の欠損の治療 ⑥精密印象採得 (寒天・アルジネート連合印象、シリコン印象) の各基本的操作を実施できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2021/04/09 (金) 4時限 14:50～16:20	個人トレーの製作	【授業の一般目標】 個人トレーの目的を理解し、正確に製作する技術を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブリッジの精密印象を採得できる適切な個人トレーの設計ができる。 3. 個人トレー製作のための適切なトレーレジンでの操作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2021/04/16 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの種類と構成 ブリッジの設計 インフォームドコンセント 前処置 支台歯形成	【授業の一般目標】 ブリッジの適応症、構成要素、種類について理解する。 ブリッジの設計について理解する。 インフォームドコンセントの基本的理念、必要なプロセス、ならびに治療の選択に影響する因子を理解する。 ブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義、種類、内容について理解する。 支台歯形成の目的と原則、歯頸部辺縁形態の分類と適応、支台歯形成の手順、注意点を理解する。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/16 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの種類と構成 ブリッジの設計 インフォームドコンセント 前処置 支台歯形成	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブリッジの適応症, 構成要素, 種類を説明できる。 3. ブリッジの設計について説明できる 4. インフォームドコンセントの基本的理念, 治療の選択に影響する因子を説明できる。 5. ブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義, 種類, 内容を説明できる。 6. 支台歯形成の目的と原則, 歯頸部辺縁形態の分類と適応, 支台歯形成の手順, 注意点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間: 90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2021/04/16 (金) 3時限 13:10～14:40	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 小白歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 ブリッジ支台歯形成時の平行測定の必要性と方法について理解する。 大白歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 適切な支台歯形成を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 小白歯全部金属冠の支台歯形態を図示し, 歯質の削除ができる。 3. 大白歯全部金属冠の支台歯形態を図示し, 歯質の削除ができる。 4. ブリッジ支台歯形成時の平行測定ができる。 5. ブリッジの支台歯形成を行うことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室: 実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2021/04/16 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 小白歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 ブリッジ支台歯形成時の平行測定の必要性と方法について理解する。 大白歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 適切な支台歯形成を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 小白歯全部金属冠の支台歯形態を図示し, 歯質の削除ができる。 3. 大白歯全部金属冠の支台歯形態を図示し, 歯質の削除ができる。 4. ブリッジ支台歯形成時の平行測定ができる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/16 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの支台歯形成	<p>5.ブリッジの支台歯形成を適切に行うことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>*増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西山 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2021/04/23 (金) 2時限 10:40～12:10	印象採得 プロビジョナル レストレーション	<p>【授業の一般目標】</p> <p>印象材の種類と特徴を理解する。 印象用器材、印象法の種類と特徴について理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解する。 プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を理解する。 プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を理解する。 仮着用セメントの種類と特徴を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.印象材の種類と特徴を説明できる。 3.印象用器材、印象法の種類と特徴を説明できる。 4.歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 5.プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明できる。 6.プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を説明できる。 7.仮着用セメントの種類と特徴を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>マルチメディア、配付プリント、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2021/04/23 (金) 3時限 13:10～14:40	プロビジョナル レストレーションの 製作	<p>【授業の一般目標】</p> <p>プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 ボンテックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2.プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 3.歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 4.ボンテックの基底面形態を正確に付与できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/23 (金) 3時限 13:10~14:40	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製法を説明できる。</p>	<p>*西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2021/04/23 (金) 4時限 14:50~16:20	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料，器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 ボンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料，器具およびそれらの使用法を習得する。 3. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 4. ボンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2021/04/30 (金) 2時限 10:40~12:10	顎間関係の記録（咬合採得） 患者情報の記録と伝達	<p>【授業の一般目標】 顎間関係の記録（咬合採得）の意義について理解する。 咬合採得する下顎位と咬合採得法について理解する。 咬合支持に応じた咬合採得法について理解する。 口腔内情報を記録する意義について理解する。 色調の選択と伝達方法について理解する。 歯の位置と形態の記録法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎間関係の記録（咬合採得）の意義について説明できる。 3. 咬合採得する下顎位と咬合採得法について説明できる。 4. 咬合支持に応じた咬合採得法について説明できる。 5. 口腔内情報を記録する意義について説明できる。 6. 色調の選択と伝達方法について説明できる。 7. 歯の位置と形態の記録法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/30 (金) 2時限 10:40～12:10	顎間関係の記録 (咬合採得) 患者情報の記録と 伝達	<p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑥色調選択 (シェードテイキング) を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2021/04/30 (金) 3時限 13:10～14:40	ブリッジの印象採得・咬合採得	<p>【授業の一般目標】 印象材の練和ができる。 個人トレーを用いた精密印象採得法を行うことができる。 精密印象採得に必要な器具、方法について説明できる。 歯肉圧排の目的、方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 印象材の練和ができる。 3. 個人トレーを用いた精密印象採得の操作ができる。 4. 精密印象採得に必要な器具を正確に使用し、精密印象採得ができる。 5. 歯肉圧排ができる。 6. パラフィンワックスを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2021/04/30 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの印象採得・咬合採得	<p>【授業の一般目標】 印象材の練和ができる。 個人トレーを用いた精密印象採得法を行うことができる。 精密印象採得に必要な器具、方法について説明できる。 歯肉圧排の目的、方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 印象材の練和ができる。 3. 個人トレーを用いた精密印象採得の操作ができる。 4. 精密印象採得に必要な器具を正確に使用し、精密印象採得ができる。 5. 歯肉圧排ができる。 6. パラフィンワックスを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。 7. シリコンを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/30 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの印象採得・咬合採得	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2021/05/07 (金) 2時限 10:40～12:10	咬合と下顎位	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 下顎位の名称を挙げ説明できる。 3. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 4. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑦下顎の随意運動と反射を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2021/05/07 (金) 3時限 13:10～14:40	作業模型の製作	【授業の一般目標】 ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 歯型可撤式模型について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具を使用できる。 2. 要件を満たしたブリッジの作業模型を製作することができる。 3. ブリッジ製作のための歯型可撤式模型を製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/07 (金) 3時限 13:10~14:40	作業模型の製作	E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 *渡辺 官 *高橋 徹也 *青木 直子
2021/05/07 (金) 4時限 14:50~16:20	作業模型の製作	【授業の一般目標】 ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 歯型可撤式模型について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具を使用できる。 2. 要件を満たしたブリッジの作業模型を製作することができる。 3. ブリッジ製作のための歯型可撤式模型を製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 *渡辺 官 *高橋 徹也 *青木 直子
2021/05/14 (金) 2時限 10:40~12:10	咬合と下顎運動の決定要素	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 3. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間: 90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書 下顎運動に関連する演習を行う。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/14 (金) 2時限 10:40～12:10	咬合と下顎運動の決定要素	6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2021/05/14 (金) 3時限 13:10～14:40	作業模型の咬合器付着	【授業の一般目標】 作業模型を正確に咬合器に付着する方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 g 患者情報の記録と伝達 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2021/05/14 (金) 4時限 14:50～16:20	作業模型の咬合器付着	【授業の一般目標】 作業模型を正確に咬合器に付着する方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2021/05/21 (金) 2時限 10:40～12:10	咬合器	【授業の一般目標】 フェイスボウトランスファーとチェックバイトについて理解する。 パントグラフによる下顎運動の記録法について理解する。 咬合器の分類と特徴について理解する。 半調節性咬合器の調節方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. フェイスボウトランスファーとチェックバイトを説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/21 (金) 2時限 10:40～12:10	咬合器	<p>3. パントグラフによる下顎運動の記録法を説明できる。 4. 咬合器の分類と特徴を説明できる。 5. 半調節性咬合器の調節方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ④歯列と咬合を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>
2021/05/21 (金) 3時限 13:10～14:40	歯型の調整 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な歯型の調整ができる。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子</p>
2021/05/21 (金) 4時限 14:50～16:20	歯型の調整 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な歯型の調整ができる。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/21 (金) 4時限 14:50～16:20	歯型の調整 ワックスアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 山 裕名 * 西 秀太 * 三 千晶 * 安 明弘 * 阿 圭甫 * 中 正 * 山 美咲 渡 官 高 徹也 * 青 直子
2021/05/28 (金) 2時限 10:40～12:10	作業用模型の製作 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 作業用模型の構成と要件について理解する。 模型材の種類と性質を理解する。 作業用模型の種類と特徴を理解する。 ワックスの種類と要件、取り扱い方法を理解する。 ワックスアップの方法と注意事項を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 作業用模型の構成と要件を説明できる。 3. 模型材の種類と性質を説明できる。 4. 作業用模型の種類と特徴を説明できる。 5. ワックスの種類と要件、取り扱い方法を理解する。 6. ワックスアップの方法と注意事項を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 小見山 道 * 飯田 崇 * 岩田 好弘
2021/05/28 (金) 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 小見山 道 * 小林 平 * 若見 昌信 * 鈴木 浩司 * 飯田 崇 * 大村 祐史 * 浅野 隆 * 内堀 聡史 * 岩田 好弘 * 岩崎 正敏 * 本田 実加 * 増田 学 * 加藤 由佳子 * 生田 真衣 * 上里 ちひろ * 神山 裕名 * 西 秀太 * 三 千晶 * 安 明弘 * 阿 圭甫 * 中 正 * 山 美咲 渡 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/28 (金) 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	高橋 徹也 *青木 直子
2021/05/28 (金) 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2021/06/04 (金) 2時限 10:40～12:10	第1回平常試験・ 解説講義	<p>【授業の一般目標】 平常試験までの授業内容を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 8回の講義内容から多肢選択式問題で50問を出題する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 多肢選択式問題</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p>	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/06/04 (金) 3時限 13:10~14:40	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 *渡辺 官 *高橋 徹也 *青木 直子</p>
2021/06/04 (金) 4時限 14:50~16:20	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAMを含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 *渡辺 官 *高橋 徹也 *青木 直子</p>
2021/06/11 (金) 2時限 10:40~12:10	埋没・鋳造・熱処理・研磨	<p>【授業の一般目標】 埋没材の種類と性質を理解する。 埋没法を理解する。 鋳造用金属の所要性質と種類を理解する。 鋳造法の種類と方法を理解する。 鋳造後の処理と研磨方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 埋没材の種類と性質を説明できる。 3. 埋没法を説明できる。 4. 鋳造用金属の所要性質と種類を説明できる。 5. 鋳造法の種類と方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/06/11 (金) 2時限 10:40～12:10	埋没・鋳造・熱処理・研磨	6. 鋳造後の処理と研磨方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア, 配付プリント, 教科書 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2021/06/11 (金) 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ	【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習 【学修方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2021/06/11 (金) 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習 【学修方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/06/11 (金) 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	*小見山 道平 *小林 昌信 *若見 浩司 *鈴木 崇祐 *飯田 隆史 *大村 聡史 *浅野 好弘 *内堀 正敏 *岩田 実加 *岩崎 学 *増田 佳子 *加藤 由真 *生田 衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *山森 秀太 *西浦 千晶 *三浦 明弘 *安田 圭甫 *阿部 正 *中島 美咲 *山城 渡辺 官 *高橋 徹也 *青木 直子
2021/06/18 (金) 2時限 10:40～12:10	口腔内試適と装着 術後管理 装着後に発生する 問題とその対応	<p>【授業の一般目標】 ブリッジ試適時の調整手順・調整方法について理解する。 ブリッジ咬合面の調整方法について理解する。 各種歯科用セメントの特徴について理解する。 術後管理の重要性について理解する。 補綴装置装着後に発生する問題の原因、解決法について理解する。 補綴装置装着後に発生する問題の予防方法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブリッジ試適時の調整手順・調整方法を説明できる。 3. ブリッジ咬合面の調整方法を説明できる。 4. 各種歯科用セメントの特徴を説明できる。 5. 術後管理の重要性を説明できる。 6. 補綴装置装着後に発生する問題の原因、解決法を説明できる。 7. 補綴装置装着後に発生する問題の予防方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 i 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑩クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑪クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。</p>	*小見山 道平 *飯田 崇好 *岩田 好弘
2021/06/18 (金) 3時限 13:10～14:40	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鑄造操作を適切に行うことができる。 5. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p>	*小見山 道平 *小林 昌信 *若見 浩司 *鈴木 崇祐 *飯田 隆史 *大村 聡史 *浅野 好弘 *内堀 正敏 *岩田 実加 *岩崎 学 *増田 佳子 *加藤 由真 *生田 衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *山森 秀太 *西浦 千晶 *三浦 明弘 *安田 圭甫 *阿部 正 *中島 美咲 *山城 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/06/18 (金) 3時限 13:10～14:40	埋没 鑄造	<p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	高橋 徹也 *青木 直子
2021/06/18 (金) 4時限 14:50～16:20	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鑄造操作を適切に行うことができる。 5. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大塚 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生里 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2021/06/25 (金) 2時限 10:40～12:10	支台築造 CAD/CAMによるク ラウンブリッジの 製作	<p>【授業の一般目標】 支台築造の臨床的意義、選択基準を理解する。 築造窩洞形成の原則と手順を理解する。 支台築造の種類と方法を理解する。 CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を理解する。 CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを理解する。 CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 支台築造の臨床的意義、選択基準を説明できる。 3. 築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。 4. 支台築造の種類と方法を説明できる。 5. CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を説明できる。 6. CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを説明できる。 7. CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】</p>	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/06/25 (金) 2時限 10:40～12:10	支台築造 CAD/CAMによるク ラウンブリッジの 製作	講義 【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製法法（CAD/CAMを含む）を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2021/06/25 (金) 3時限 13:10～14:40	埋没 鋳造	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鋳造操作を適切に行うことができる。 5. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *生上 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2021/06/25 (金) 4時限 14:50～16:20	埋没 鋳造	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鋳造操作を適切に行うことができる。 5. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *生上 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/06/25 (金) 4時限 14:50～16:20	埋没 鑄造	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）</p> <p>D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途</p> <p>①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。</p> <p>②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。</p> <p>D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法</p> <p>②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療</p> <p>⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道平</p> <p>*小林 昌信</p> <p>*若見 浩司</p> <p>*鈴木 崇祐</p> <p>*飯田 史隆</p> <p>*大村 聡史</p> <p>*浅野 好弘</p> <p>*内堀 正敏</p> <p>*岩田 実加</p> <p>*増田 学</p> <p>*加藤 由佳子</p> <p>*生田 真衣</p> <p>*上里 ちひろ</p> <p>*神山 裕名</p> <p>*西森 秀太</p> <p>*三浦 千晶</p> <p>*安田 明弘</p> <p>*阿部 圭甫</p> <p>*中島 正</p> <p>*山城 美咲</p> <p>渡辺 官</p> <p>高橋 徹也</p> <p>*青木 直子</p>
2021/07/02 (金) 2時限 10:40～12:10	レジン前装冠 ハイブリッド型コン ポジットレジン クラウン 陶材焼付冠 オールセラミック 修復	<p>【授業の一般目標】</p> <p>レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法を理解する。</p> <p>ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法を理解する。</p> <p>陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。</p> <p>オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法を説明できる。 3. ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法を説明できる。 4. 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法を説明できる。 5. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>マルチメディア、配付プリント、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療</p> <p>②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAMを含む）を説明できる。</p> <p>⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小見山 道平</p> <p>*飯田 崇祐</p> <p>*岩田 好弘</p>
2021/07/02 (金) 3時限 13:10～14:40	ろう着用コア一採 得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】</p> <p>一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。</p> <p>ろう着用のろうの要件について理解する。</p> <p>ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着間隙を適切に求めることができる。 3. ろう着のためのコア一採得ができる。 4. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5. 正しいろう着操作ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室、第5実習室</p>	<p>*小見山 道平</p> <p>*小林 昌信</p> <p>*若見 浩司</p> <p>*鈴木 崇祐</p> <p>*飯田 史隆</p> <p>*大村 聡史</p> <p>*浅野 好弘</p> <p>*内堀 正敏</p> <p>*岩田 実加</p> <p>*本田 学</p> <p>*増田 学</p> <p>*加藤 由佳子</p> <p>*生田 真衣</p> <p>*上里 ちひろ</p> <p>*神山 裕名</p> <p>*西森 秀太</p> <p>*三浦 千晶</p> <p>*安田 明弘</p> <p>*阿部 圭甫</p> <p>*中島 正</p> <p>*山城 美咲</p> <p>渡辺 官</p> <p>高橋 徹也</p> <p>*青木 直子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/07/02 (金) 3時限 13:10～14:40	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道平 *小林 昌信 *若見 浩司 *鈴木 崇史 *飯田 祐史 *大村 隆 *浅野 聡史 *内堀 好弘 *岩田 正敏 *岩崎 実加 *本田 学 *増田 佳子 *加藤 由佳子 *生里 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 *渡辺 官 *高橋 徹也 *青木 直子</p>
2021/07/02 (金) 4時限 14:50～16:20	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着間隙を適切に求めることができる。 3. ろう着のためのコア一採得ができる。 4. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5. 正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>*小見山 道平 *小林 昌信 *若見 浩司 *鈴木 崇史 *飯田 祐史 *大村 隆 *浅野 聡史 *内堀 好弘 *岩田 正敏 *岩崎 実加 *本田 学 *増田 佳子 *加藤 由佳子 *生里 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 *渡辺 官 *高橋 徹也 *青木 直子</p>
2021/07/09 (金) 2時限 10:40～12:10	従来ブリッジと接着ブリッジ 口腔インプラント 支台のクラウンブリッジ	<p>【授業の一般目標】 ワンピースキャスト法（一塊鑄造法）とろう付け法の違いについて理解する。 ブリッジの固定性連結、半固定性連結、可撤性連結の違いについて理解する。 接着ブリッジの利点、適応症、製作法について理解する。 接着ブリッジ装着時の金属ならびに歯質被着面処理について理解する。 口腔インプラントの上部構造について理解する。 口腔インプラント補綴装置の選択基準について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ワンピースキャスト法（一塊鑄造法）とろう付け法の違いを説明できる。 3. ブリッジの固定性連結、半固定性連結、可撤性連結の違いを説明できる。 4. 接着ブリッジの利点、適応症、製作法を説明できる。 5. 接着ブリッジ装着時の金属ならびに歯質被着面処理を説明できる。 6. 口腔インプラントの上部構造を説明できる。 7. 口腔インプラント補綴装置の選択基準を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】</p>	<p>*小見山 道平 *飯田 崇史 *岩田 好弘</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/07/09 (金) 2時限 10:40～12:10	従来ブリッジと接着ブリッジ 口腔インプラント 支台のクラウンブリッジ	講義 【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製法（CAD/CAMを含む）を説明できる。 E-3-4-(3) 口腔インプラント ⑥口腔インプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。 ⑦口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2021/07/09 (金) 3時限 13:10～14:40	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2.ろう着間隙を適切に求めることができる。 3.ろう着のためのコア一採得ができる。 4.ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5.正しいろう着操作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2021/07/09 (金) 4時限 14:50～16:20	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2.ろう着間隙を適切に求めることができる。 3.ろう着のためのコア一採得ができる。 4.ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5.正しいろう着操作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/07/09 (金) 4時限 14:50~16:20	ろう着用コアー採得 ろう着用埋没 ろう着	ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的 (力学的性質と熱的性質を含む)、化学的 (溶解性を含む)、生物学的 (生体活性、副作用を含む) 性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*小見山 道平 *小林 昌信 *若見 浩司 *鈴木 浩司 *飯田 崇史 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 *渡辺 官 *高橋 徹也 *青木 直子
2021/07/16 (金) 2時限 10:40~12:10	高齢者・要介護者におけるクラウンブリッジ補綴 歯周病患者におけるクラウンブリッジ補綴 顎関節症患者におけるクラウンブリッジ補綴	【授業の一般目標】 高齢者へのクラウンブリッジ治療時の注意事項を理解する。 補綴前処置としての歯周治療の意義を理解する。 適切なマージン設定、カントゥア形態について理解する。 エマージェンスプロファイル、隣接面形態について理解する。 顎関節症に対する補綴歯科治療について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 高齢者へのクラウンブリッジ治療時の注意事項を説明できる。 3. 補綴前処置としての歯周治療の意義を説明できる。 4. 適切なマージン設定、カントゥア形態を説明できる。 5. エマージェンスプロファイル、隣接面形態を説明できる。 6. 顎関節症に対する補綴歯科治療を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ア 診察 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑩クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑪クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(11) 口腔・顎顔面領域の機能障害 ⑩咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑩クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。	*小見山 道平 *飯田 崇史 *岩田 好弘
2021/07/16 (金) 3時限 13:10~14:40	ブリッジの調整 研磨 完成	【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 3. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 5. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分	*小見山 道平 *小林 昌信 *若見 浩司 *鈴木 浩司 *飯田 崇史 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/07/16 (金) 3時限 13:10~14:40	ブリッジの調整 研磨 完成	<p>・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>* 西森 秀太 * 三浦 千晶 * 安田 明弘 * 阿部 圭甫 * 中島 正 * 山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 * 青木 直子</p>
2021/07/16 (金) 4時限 14:50~16:20	ブリッジの調整 研磨 完成	<p>【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 3. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 5. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>* 小見山 道 * 小林 平 * 若見 昌信 * 鈴木 浩司 * 飯田 崇 * 大村 祐史 * 浅野 隆 * 内堀 聡史 * 岩田 好弘 * 岩崎 正敏 * 本田 実加 * 増田 学 * 加藤 由佳子 * 生田 真衣 * 上里 ちひろ * 神山 裕名 * 西森 秀太 * 三浦 千晶 * 安田 明弘 * 阿部 圭甫 * 中島 正 * 山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 * 青木 直子</p>
2021/08/27 (金) 2時限 10:40~12:10	第2回平常試験・ 解説講義	<p>【授業の一般目標】 第1回平常試験から以降の講義内容について理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 第1回平常試験以降の6回の講義内容から多肢選択式問題で50問を出題する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 多肢選択式問題</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p>	<p>* 小見山 道 * 飯田 崇 * 岩田 好弘</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/08/27 (金) 2時限 10:40～12:10	第2回平常試験・ 解説講義	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2021/08/27 (金) 3時限 13:10～14:40	ブリッジの調整 研磨 完成	【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 3. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 5. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的 (力学的性質と熱的性質を含む)、化学的 (溶解性を含む)、 生物学的 (生体活性、副作用を含む) 性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子
2021/08/27 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの調整 研磨 完成	【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 3. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 5. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/08/27 (金) 4時限 14:50~16:20	ブリッジの調整 研磨 完成	①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇 *大村 祐史 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩田 好弘 *岩崎 正敏 *本田 実加 *増田 学 *加藤 由佳子 *生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶 *安田 明弘 *阿部 圭甫 *中島 正 *山城 美咲 渡辺 官 高橋 徹也 *青木 直子